

ログイン会員登録
天気

ニュース

岩手のニュース
全国のニュース
経済

スポーツ

岩手のスポーツ
プロ野球
高校野球

特集

大震災を学ぶ
I L C
サケの乱

観光・イベント

イベント案内
トレッキングガイド
観光グルメ

岩手日報社から

社告
読書感想文を募集
3×3選手権

購読のお問い合わせ

有料携帯サイトのご案内

TOP > 論説 > 記事

(論説)「高プロ」導入 疑問と不安残したまま

シェア ツイート LINEで送る

2018.06.30

働き方改革関連法案が国会で成立、高収入の一部専門職を労働時間規制の対象から外す高度プロフェッショナル制度（高プロ）が導入されることになった。

長時間労働や過労死を助長する可能性が指摘され、議論の過程で疑問点が示された同制度だが、労働界や過労死遺族からの強い反対を押しつけて実現した。

適用には労働者の同意が必要とされるが、そうだとした場合でも経営側とは事実上対等な関係にあるわけではなく、企業には慎重な対応を求めたい。労使の協議も重要になる。

対象者は年収1075万円以上の専門職。想定される業務内容は金融ディーラーや経営コンサルタントなどだが、今後、省令によって具体的に定められる。

経済界のこれまでの発言を見ると、年収要件の緩和や職種の拡大を望んでいるのは間違いない。なし崩し的に拡大することがないよう国に注文したい。

「残業代ゼロ制度」とも言われる同制度。もともと第1次安倍政権で同様の「ホワイトカラー・エグゼンプション」が検討されたが、断念した経緯がある。

第2次政権になって、職業を絞るなどして高プロに改め、導入を図った。しかし、野党から批判され、たなざらしに。今国会では、残業時間の上限規制や同一労働同一賃金などを一括化して提出し、成立を目指した。

「残業代ゼロ制度」は、このように執念深く導入が図られた。ただ、それにしても議論の過程はお粗末だった。

象徴的なのが、厚生労働省が創設の根拠としたヒアリング。聞き取り調査はコンサルタントらわずか12人で、制度設計前に実施したのは1人だけだった。

これでは「働き手のニーズによる導入」という説明に納得するのは難しい。実際に適用された後、どんな影響が出るのか、働く人に不安を広げる結果となってしまうのではないかと。

いくつかの内容を盛り込んだ働き方改革関連法案だが、高プロや、結局は断念した裁量労働制適用拡大を巡り与野党が対立したこともあり、他の重要な内容についても議論の深まりが見られなかった。

来年4月以降の順次施行、適用に向け、各企業は対処の必要に迫られる。人事や賃金制度の専門部署に多くの人員を充てられる大企業に比べ、地方の企業や中小企業は大変だろう。

例えば同一労働同一賃金に関して最高裁判決で一定の判断が示されたが、企業個々が具体的に対応するに当たっては戸惑いも生じられる。国や業界団体などがしっかり支援する必要がある。

夏はやっぱりビール祭！ 盛岡で28日から「賑わいの日曜日」

広告

(論説) 原発新基準5年 頼りすぎの姿勢を危惧

2018.07.15

(論説) 豪雨被災者支援 東日本の経験を今こそ

2018.07.14

58歳母が驚くほどキレイになった秘密とは

広告



(論説) 豪雨避難 常に心構えを欠かさず

2018.07.13

①

(論説) 米朝会談
1 カ月 動きが止
まって見える

2018.07.12

この記事を読んだ人が、
興味を持った記事

ILC100人委員会が発足 経
済、文化人が計画後押し

2018.06.30

「肉&ビア」まちに活気を 盛
岡、16日までフェス

2018.07.14



52歳がガチ変身！製菓会社の和菓
子／提携

広告 ④

岩手の海開き、今年は11カ所 3
カ所は震災後初

2018.07.14

宮古、劇的サヨナラ 高校野球岩
手大会第5日

2018.07.13

大谷、右肘再検査へ ソーシア監
督が明かす

2018.07.12

(論説) 同時多発
豪雨 前例なき事
態に備えを

2018.07.11

岩手のニュースをもっとみる

①

① ×

この記事を読んだ人が、
興味を持った記事

人気の記事

「肉&ビア」まちに活気
を 盛岡、16日までフェ
ス

2018.07.14

岩手の海開き、今年は11
カ所 3カ所は震災後初

2018.07.14

宮古、劇的サヨナラ 高